

2006年8月25日

報道関係者各位

『ベルメゾン生活スタイル研究所 スタイルモニターレポート Vol.13』

20-50代女性 979人に「防災対策」について聞きました。

災害に対して何らかの備えが必要だと思う 96.2%
実際に日頃から準備しているものがある 51.5%

～日頃の備えが必要だと思いつつも、実行している人は約半数～

株式会社千趣会（本社 大阪市、代表取締役社長 行待 裕弘）が運営するベルメゾン生活スタイル研究所では、女性の生活スタイルや意識についての調査を随時行っております。

さて、このところ日本はもちろん世界各国で地震や異常気象による自然災害が発生し被害が深刻化しています。常に不安を抱えながら生活している一方で、もしもの場合に対する備えに対してはどのように考えているのでしょうか。今回はスタイルモニター979人に「防災対策」について聞いてみました。

不安に思っている災害は、1位「地震」2位「台風」3位「洪水」の順

まず、現在の居住地の災害発生についてどの程度不安を感じているかを聞いたところ、地震については「とても不安を感じる」33.6%、「ある程度不安を感じる」50.7%という結果になり、8割以上の方が不安に思っているということがわかりました。次に多かったのは台風で42.1%、洪水が27.9%という結果になりました。

災害に対して何か備えるべきだと思っている人はほぼ全員

災害に対して何か備えるべきだと思うか、という質問に対しては「備えるべき」33.0%、「ある程度は備えるべき」63.2%という回答結果になり、ほぼ全員がなんらかの備えが必要であると考えているようです。

災害時を想定して日頃から準備しているものがある人は51.5%

実際に災害時を想定して準備しているものがある人は約半数となりました。準備しているもので一番多かったのは「懐中電灯・ろうそく」次いで「飲料水」「食料」「マッチ・ライター」「ロープ・軍手」「ビニール袋」「生理用品」と続きました。

準備していない人の理由は、1位「用意する時間がないから」2位「その時になれば何とかかなと思うから」3位「価格が高いから」

日頃から災害に備えて準備しているものがない人にその理由を聞いてみると、上記のような結果に。その時になれば何とかかなと思っている楽観派の人が16%いました。

今後一年間で防災対策としてかけてもよいと思う金額は、5000円未満が約半数

今後一年間で防災対策としてかけてもよいと思う金額を聞いてみると、1000円～5000円未満と答えた方が41.5%、5000円～1万円未満と答えた人が30.9%という結果になりました。

なお、今回の調査結果について詳しくはベルメゾン生活スタイル研究所ホームページ <http://www.belle-style.com/top/live/034/live034.htm> をご覧ください。

調査の方法：ベルメゾン生活スタイル研究所のスタイルモニターバンクに登録している20～59歳の全国の女性で有効回答数は979人。インターネットを使って2006年8月8日～8月10日に実施した。

本件に関する問い合わせ先

ベルメゾン生活スタイル研究所 坂本典子 (<mailto:n-sakamoto@senshukai.co.jp>)
〒530-0035 大阪市北区同心1-6-23 TEL：06-6881-3043 FAX：06-6352-9286